

NEWS RELEASE

2022年5月31日

生理用品 寄附贈呈式 - YOTAI SDGs -



小中学校で使って生理用品を寄贈
ヨ-タイが瑞浪市に
瑞浪市小田町に工場を構える耐火物製造販売ヨ-タイ(大阪府貝塚市)が二十日、瑞浪市にシヨーツやナプキンなどの生理用品十二万円相当を寄贈した。
ヨ-タイは一九六一年から小田町に工場を構え、現在は名古屋支社としても機能している。国連が掲げる

持続可能な開発目標(SDGs)に沿った地域貢献の一環として、小中学校で利用してもらおうと寄贈した。市は市内の小中学校に分配し、生理用品が必要な子どもにも保健室で手渡す。

この日市役所であった贈呈式に、川森康夫常務瑞浪工場長と竹林真一郎取締役業務部長らが出席。川森常務が水野光二市長に生理用品一式を手渡した。竹林取締役は「社会貢献の方法を採る中で生理の貧困の問題が目にとまった。子どもたちの健康増進に役立ててほしい」と話した。
ヨ-タイは同日、陶町の陶児児童館と土岐町の中京子ども園に、子ども向けの卓球台を一台ずつ贈った。
(真子弘之助)

中日新聞/2022年4月21日に掲載されました。



国連が掲げる持続可能な開発目的(SDGs)に沿った地域貢献の一環として、小中学校で利用してもらえるよう、瑞浪市・貝塚市・備前市に生理用品を寄付しました。生理用品が必要な小中学生に保健室で手渡してまいります。「生理の貧困問題」に対し、将来を担う子どもたちのために何かできないか」と思い、この取り組みに至りました。